

## 実践記録

学校名 / 学年	小学校 / 6年	
教科等 : 単元名	学級活動 : 「情報モラルで気をつけることを伝えよう」	
キーワード	メール ていねい やりとり	
情報モラル指導 モデルカリキュラム表における 目標	分類	情報社会の倫理 法の理解と遵守 安全への知恵 情報セキュリティ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	a1～a3 : 発信する情報や情報社会での行動に責任を持つ。
	中目標項目番号 中目標項目内容	a3-1 : 他人や社会への影響を考えて行動する。
授業会場	パソコン教室 普通教室 特別教室〔 〕 その他〔 〕	
学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メールや掲示板などを利用する際に、守らなければいけない事を確認する。</li> <li>・どういったら、ビデオカメラを通して情報モラルをわかりやすく伝えられるか、シナリオとセリフ、演技を工夫する。</li> </ul>	
使用教材	教材名	事例で学ぶネットモラル
	製作者	広島県教科用図書株式会社
	入手先 (URL 等)	長野市情報モラルポータルサイト「事例で学ぶNetモラル」

### 展開

	学習活動	指導 評価
導入	1 情報モラルにはどんなものがあったのかを出し合う。	・自分がパソコンやメールを使うときに嫌な気持ちになるのはどんな時かを話し合わせる。
展開	2 情報モラルについて確認する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループから出されたモラルをまとめて、皆で確認する。</li> <li>・それぞれのモラルについて、どのような演技をすると他の人たちに伝わりやすいかを考えさせる。</li> <li>要点を押さえて、相手にモラルの大事さを伝えるような演技やセリフを言うことができたか。</li> </ul>
	3 シナリオづくり	
	4 デジタルビデオカメラでの撮影	
おわり	5 撮影された自分たちの演技を観賞する	・演技で不十分なところや、直すところがないかどうかをもう一度チェックする。

### 授業の実際・留意点

- ・終業式での6年生の発表ということにあわせての授業展開をした。他の学年の子達にも自分たちが勉強してきたことや大事なことを伝えようと言うものである。情報モラルでは「メールで人の悪口を書かない」「しつこくしない」「校内掲示板では丁寧な言葉づかいで」「共同制作電子ポスターでは場所をゆずりあって」等、4点をあつかった。どれも現実世界でもあてはまる大事な点である。撮影して、自分の姿を見直すという活動は、子供たちの意欲をたくさん引き出していたように思う。

### 授業の成果、指導のポイント

- ・大事なポイントを口で言う、覚えるだけでなく、実際のシチュエーションに近い状態で演技をすることで、子どもたちの中に根付いたように思う。人に見せるという活動が、これほど子供たちを一生懸命にさせるとは思わなかった。機会があれば今後も撮影 発表の活動をしてみたいと思う。デジタルビデオカメラは、編集が大変簡単なので、こういった活動には効果的である。